

若者の生きづらさと依存症 ～学校でできるかかわり～

近年、青少年の身近にある依存の問題については、市販薬の乱用、インターネットやゲームの使用など、幅広い分野へと広がっており、その背景には、様々な生活上の困難や生きづらさが隠れていると言われています。

本研修では、青少年をとりまく依存症の知識について理解を深め、学校現場での生きづらさを抱える生徒や保護者への関わりについて、事例を含めた講義やグループワークを通じて考えます。ぜひ、ご参加ください。

日時

令和8年12月8日(火)14時から17時まで
(受付は13時30分から)

場所

ドーンセンター 5階 特別会議室
(大阪府中央区大手前1丁目3番49号)



[会場へのアクセスはこちら](#)

● 講義「思春期・若者をとりまく薬物依存症の理解と対応」

講師:医療法人利田会 久米田病院 副院長 狩山 博文 氏

久米田病院の副院長・精神科部長として、精神疾患や薬物依存症に関する診療に長年携わっておられます。また、保健所の嘱託医として地域の精神保健活動にも積極的に関わり、医療と地域支援の両面からこころの健康づくりに尽力されています。
本研修では、生徒にとって身近な存在である教職員を対象に、近年社会的な問題となっている薬物依存症の特徴やポイントについて実際の事例を交えてご講演いただくとともに、生徒や保護者への関わり方についてもお話しいたします。



● 依存症予防啓発ツールの紹介

● グループワーク

対象

大阪府内の高等学校、支援学校高等部、高等専修学校、大学等の教職員、保健所職員等

申込

研修案内ページ内にある申込フォームか二次元コードよりお申込みください。

こころのオアシス <https://kokoro-osaka.jp/>

依存症予防教育 → [第2回依存症予防教育教職員向け研修](#)

締切:12月3日(木)17時まで

